

レジメン名

DC+Durvalumab+Olapalib

出典

J Clin Oncol 42:283-299
子宮体がん治療ガイドライン
改訂第2版 誰も教えてくれなかった婦人科がん薬物療法
リムバーザ/イミフィンジ適正使用ガイド

実施部署区分

☒入院 ☒外来 ☐処置

対象疾患

子宮体癌

☒進行・再発:pMMR
☐補助療法(術前・術後)
☐初発
☐

投与減量の基準(化学療法期/DC)

		CBDCA	DTX
ANC	FN あるいは 500/mm ³ 未満が5日間以上持続する	AUC4へ減量	60mg/m ² へ減量
その他	Grade3以上の非血液毒性(悪心・嘔吐・食欲不振・疲労を除く)		
PLT	5万/mm ³ 未満		
Ccr	50mL/min未満		

投与中止の基準(化学療法期/DC)

ANC	1,500/mm ³ 未満	PLT	7.5万/mm ³ 未満
Hb	8.0g/dL未満	SCr	1.5mg/dLを超える
AST、ALT	100L/Lを超える	Ccr	50mL/min未満
T-bil	1.5mg/dLを超える		
その他			

投与減速の基準(イミフィンジ)

Infusion reaction Grade1又は2の場合:
投与中断又は、投与速度を50%減速する

投与中止の基準(イミフィンジ)

AST	120IU/L以上	ALT	120IU/L以上
T-bil	1.8mg/dL以上		
ベースラインのAST/ALTが基準値上限を超えている官能性腫瘍を有する患者			
SCr	男性:1.62mg/dLを超える、女性:1.2mg/dLを超える		
その他	Grade2以上(甲状腺機能低下症、1型糖尿病を除く):間質性肺疾患、大腸炎、肺炎、甲状腺機能亢進症、副腎機能不全、下垂体機能低下症、筋炎、心筋炎、重症筋無力症、脳炎、神経障害(ギランバレー症候群を含む)、皮膚障害(1週間以上持続した場合) Grade3以上:infusion reaction、皮膚障害 全Grade:消化管穿孔、赤芽球病、TEN、SJS、オラパリブとの併用下の自己免疫性溶結性貧血 Grade4または再発性のGrade3の副作用、副作用の処置として副腎皮質ホルモン剤をプレドニゾン換算で10mg/日相当量以下まで12週間以内に減量できない場合、12週間を超える休薬後もGrade1以下まで回復しない場合		

投与減量・中止の基準(維持療法期/リムバーザ)

	中止基準	処置	再開時の用量
Hb(貧血)	8.0g/dL未満	9g/dL以上に回復するまで最大4週間休薬	・1回目の再開:減量しない ・2回目の再開:1回250mgを1日2回で投与 ・3回目の再開:1回200mgを1日2回で投与
ANC	1000/mm ³ 未満	1500/mm ³ 以上に回復するまで休薬	減量しない
PLT	5万/mm ³ 未満	7.5万/mm ³ 以上に回復するまで最大4週間休薬	
間質性肺疾患	Grade2 Grade3以上	Grade1以下に回復するまで休薬 中止	再開しない
全Gradeのイミフィンジ併用下の赤芽球病、自己免疫性溶結性貧血			
上記以外の副作用	Grade3	Grade1以下に回復するまで休薬	減量しない

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
＜化学療法期＞				
デュルバルマブ(イミフィンジ)	1120mg/body	輸液100mL	60分	day1
ドセタキセル	75mg/m ²	輸液250mL	60分	day1
カルボプラチン	AUC5 ^{※1}	5%糖液250mL	60分	day1
BMIや血清クレアチニン値0.6未満による補正は行わず、上限値を設ける(下記参照)。安定性の観点から、カルボプラチンの希釈液は5%TZを基本とする。 ※1 CBDCAの投与量上限は、AUC 5=750mgとする。				
＜維持療法期＞				
デュルバルマブ(イミフィンジ)	1500mg/body ^{※2}	輸液100ml	60分	day1
※2 デュルバルマブ:体重30kg以下の場合の一回投与量は20mg/kg(最終濃度を1~15mg/mLとする)				
オラパリブ(リムバーザ)	600mg	1日2回	内服	day1-連日

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、溶液まで含む)
＜化学療法期＞ ＜内服＞ day1-3 アプレピタントカプセル(125-80-80) (day1は化学療法開始1時間前、day2,3は朝食後) day2-3 デカドロン4mg ＜DIV＞ day1 ①生食50mL(ルート確保用) ②イミフィンジ1120mg+輸液100mL(60分) 0.2又は0.22μmのインラインフィルターを使用 ③生食50mL(フラッシュ用) ④パロノセトロン0.75mg/バッグ+デキサート4.95mg(15分) ⑤ドセタキセル75mg/m ² +輸液250mL(60分) ⑥カルボプラチン(AUC5 ^{※1})mg+5%糖液250mL(60分) ⑦生食50mL(フラッシュ用) ＜維持療法期＞ ＜内服＞ day1-連日 リムバーザ 600mg 2× ＜DIV＞ day1 ①生食50mL(ルート確保用) ②イミフィンジ1500mg ^{※2} +輸液100mL(60分) 0.2又は0.22μmのインラインフィルターを使用 ③生食50mL(フラッシュ用)